

みなとみらいセンタービル

Minato Mirai Center Building

No. 12-015-2010作成

新築

事務所／物販／飲食

発注者	オーディーケー特定目的会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所 TAISEI DESIGN Planners Architects & Engineers	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	大成建設株式会社	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

事業性と環境性能が両立する画期的な複合業務ビル

事業ビル提案から

みなとみらいセンタービルは、みなとみらい駅に直結した複合業務ビルである。事業ビル提案では開発した技術を一般的・普遍的な事業ビルに最適化することで、経済的で価値のあるオフィスビルを実現できると考えた。

外観は「横浜・みなとみらい」らしさを表現する白と青の組み合わせによる縦ストライプの構成としている。シンプルで軽快でありながらも品位のあるファサードデザインを目指している。

スクエアオフィス

事務所ユーザーにとってフレキシビリティに優れ、使い易いオフィス「スクエアオフィス」を基準階に展開した。免震+制震の新しい構造システム「TASMO-HD」により整形で全く柱がない奥行き約23m×幅約80mの大スパン空間になっている。

T-Soleil

基準階中央には採光と空調に利用するエコポイド、南北には二カ所に空調と設備増設に利用する設備ポイドを設けた。エコポイドには「T-Soleil」を組み込み自然光を取り込んでいる。「T-Soleil」は頂部の太陽を自動追尾する一次ミラーと光を受ける二次ミラー、ポイド壁面の光を拡散させる三次ミラーにより、ポイド底となるオフィスエントランスのみならず、暗くなりがちなセンターコアの中間階も明るい自然光で満たすことができた。

高い環境性能

新しい構造システムとそれによるゆとり、環境ファサード、エコポイド、高効率機器の採用などでCASBEE横浜において横浜市よりSランクの認証を受けた。またCASBEE基準では運用時CO₂排出量32%減となっている。

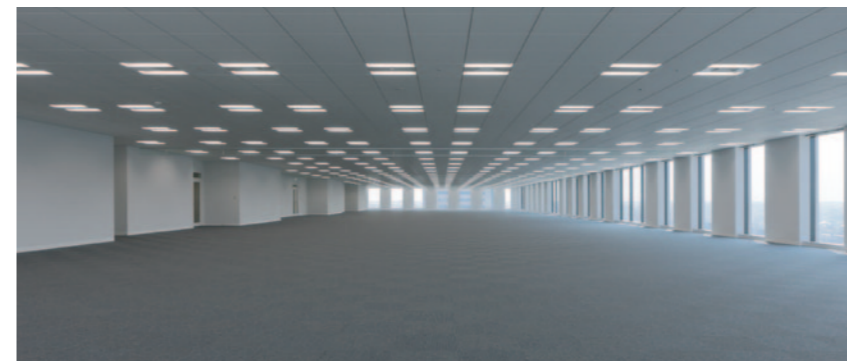
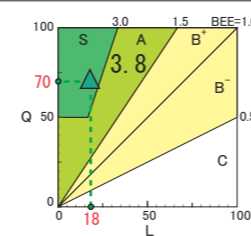


北西側全景



南側からの航空写真（中央にリビングガーデン）

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	PAL削減 31 %	Sランク
竣工年	ERR (CASBEE準拠) 30 %	BEE=3.8
敷地面積	LCCO ₂ 削減 32 % ※	CASBEE横浜 (2007年版)
敷地面積	※CASBEE2008年式の運用時の試算	第三者認証
延床面積		
構造		
階数		



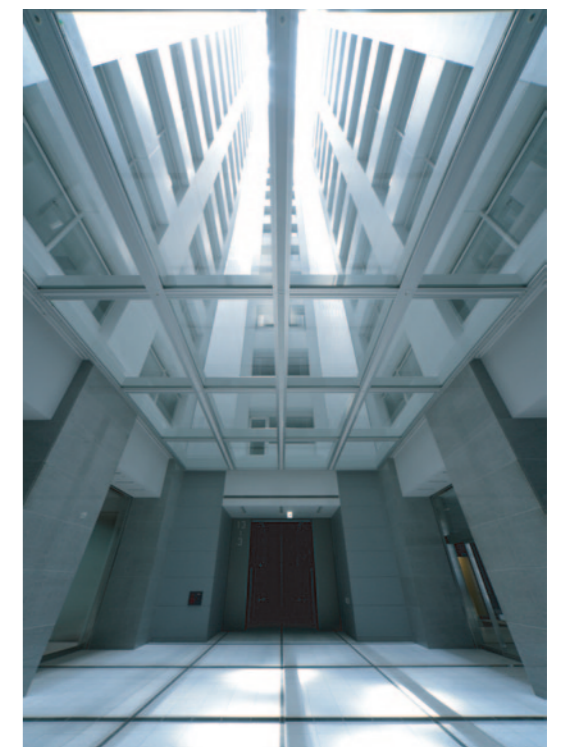
無柱大空間オフィス



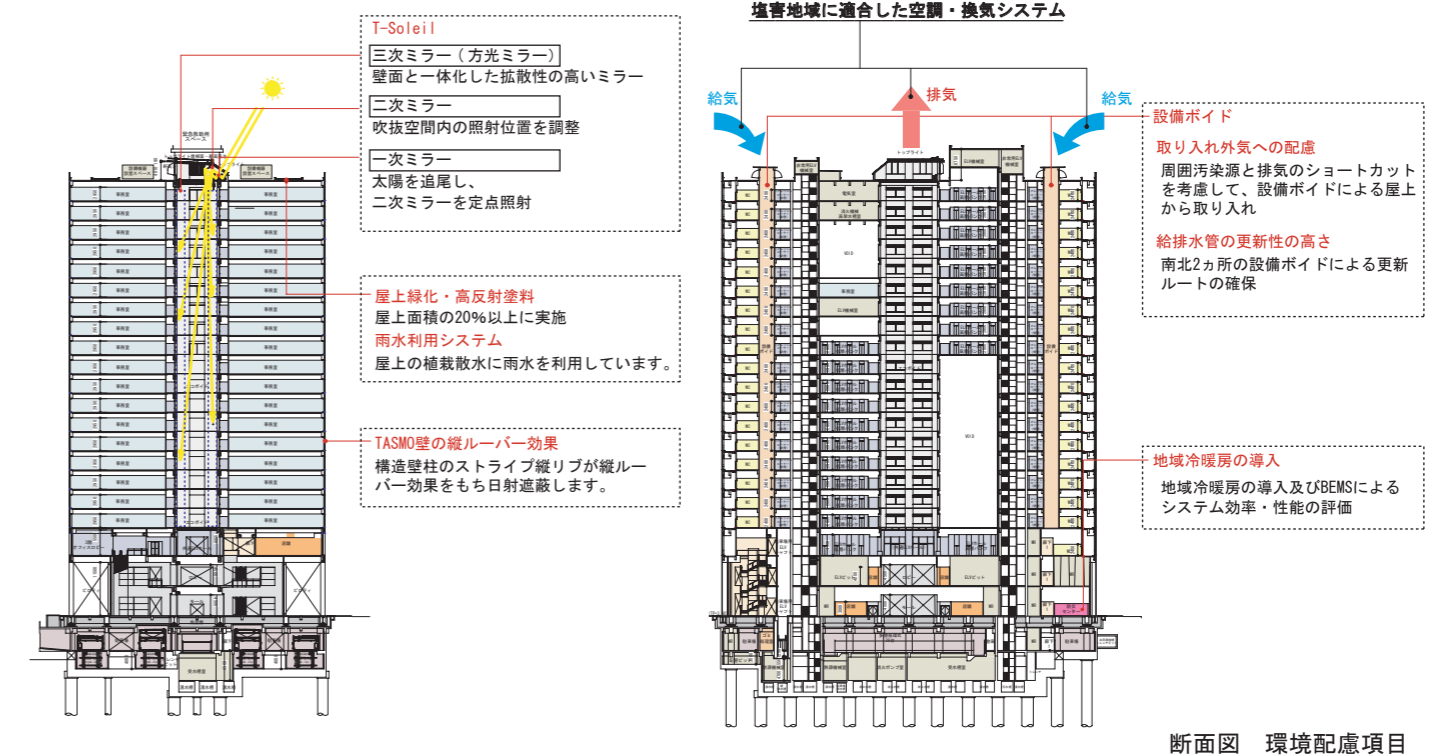
エコポイドに面する基準階廊下



T-Soleil (一次、二次ミラー)



エコポイド見上げ



設計担当者

建築：河野晴彦、畠山卓也、井深誠、峰村雄一、山村周平／構造：関清豪、有山伸之、西本信哉
 電気：小林徹也／設備：高木健、上田泰史、小林光／ランドスケープ：藤木伸一、山下剛史

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (免震+制震のTASMO-HD構造を採用、構造部材モニタリングによる躯体の長寿命化)
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮 (生物環境を創出する『リビングガーデン』、駅連絡口新設など豊かな低層空間の形成)
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制 (外壁TASMO壁による日射遮蔽効果、Low-EペアガラスによるPAL値低減)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (自動太陽位置追尾方式の集光装置『T-Soleil』の導入)
- LR2. 1. 水資源保護 (屋上緑化の散水に雨水利用、節水型機器の採用)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (屋上緑化・高反射塗料・保水性舗装の採用、夏の卓越風に配慮した配置、風環境シミュレーション)

サステナブル建築事例集 / 社団法人日本建設業連合会
 ※本事例シートおよび記載内容の二次利用を禁止します